

高知大学総合情報センター広報誌 OWL

あうる

♪ VOICE OF THE FOREST



No.1

—2009.4—

新入生歓迎号

ようこそメディアの森へ



- P.1 総合情報センター(図書館)へ行こう!
- P.3 まずマスター!OPACで本を探す
- P.4 図書館ホームページは本を探すだけじゃないヨ!!
- P.5 高知大生に薦めるこの一冊
- P.7 めでいもりだより



創刊のことは

高知大学在籍の皆さんは、本学の総合情報センター(図書館)窓口で高知県内の公共図書館の本を自由に借りることができるのをご存じですか?

総合情報センターには、在籍者の諸活動を豊かにするために様々なサービスがあります。例えば、講義教科書の蔵書です。手元に教科書がないときでも、空き時間を利用して講義の予習・復習ができます。また蔵書の所在は、パソコンで検索でき、難しければ窓口で探してくれます。本学にない場合でも、取り寄せや文献複写で入手してくれます。「ブックハンティング」というイベントに参加して、直に購入依頼さえできます。本センターには、このようにいろいろなサービスがあることを皆さんにお知らせするように心がけているのですが、まだ知らない人も多数いることでしょう。

私たちは、ここに「あうる」を誕生させます。「あうる」は、高知大学在籍の皆さんが本センターを知ろうとする努力にも期待をしています。そして本学図書館を存分に利用いただけるようお願いしております。

総合情報センター(図書館)
センター長 豊永 昌彦

表紙の人

総合情報センターの総合案内で学生スタッフとしていつも元気に働いているお二人に協力してもらいました。

人文学部 沼口 祐季さん
(人文学部社会経済学科 3年生)

人文学部 正分 敦さん
(人文学部社会経済学科 3年生)

二人から一言

「まずは気軽に図書館に足を運んでみてください。窓口でみなさんのご利用をお待ちしています。」

総合情報センター

新 入生のみなさん、ご入学おめでとうございます。みなさんはこれからの大学生活に期待に胸膨らませていることでしょうか。サークル活動やアルバイト、やってみたいことはいろいろあるかとは思いますが、やっぱり大学生の本分はまず勉強です。そこでこれからの学生生活の強い味方になる総合情報センター(図書館)についてご紹介します。総合情報センターをうまく利用できるかできないかでこれからの大学生活はずいぶん違ってきます。ぜひ早い時期に総合情報センターに足を運んで使い方を覚えましょう!!

総合情報センターは図書部門と

【情報部門】

みなさんのネットワーク生活を支援しています。教育端末室(中央館)・利用者端末室(農学部分館)では、授業がないときにはデスクトップパソコンが利用でき、レポートなどのプリントアウトが可能です。また、ノートパソコンなどのトラブル相談にも対応します。



教育端末室

<農学部分館>



物部キャンパスにあり、自然科学の中でも農学関連の蔵書を収集しています。

開館時間

平日 8:30~20:00 土日も
土日10:00~18:00 OPEN!

(図書館) に行こう!



.....「うれしい!」がいっぱい

3館どこでも利用できます!

3館どこでも借りられます!

資料の取り寄せができます!

3館どこでも返却できます!

情報部門でみなさんの学生生活をサポートします!

<中央館>



朝倉キャンパスにあり、人文科学・社会科学・自然科学の幅広い分野の蔵書を揃えています。

開館時間

平日8:30~21:00 土日も
土日9:00~21:00 OPEN!



閲覧室



【図書部門】

3館合わせた蔵書数
約75万冊

県内公共図書館 ネットワーク

県内の公共図書館から無料で本の取り寄せができます。*高知市民図書館は対象外です。



<医学部分館>

岡豊キャンパスにあり、自然科学の中でも、医学・看護に関連する蔵書を取り揃えています。

開館時間

平日9:00~20:00
土 9:00~16:30

申請すると
時間外利用が
可能に!

*医学部所属の方のみです。



勉強につかいたら・・・
ベストセラー図書あります。
DVD・ビデオもみられます。

読みたい本を探すにはどうしたらいい?

[こたえ] OPACで探します。[OPACって?] 次のページへ▶

まずマスター!OPACで 本を探す

* OPACは Online Public Access Catalogの略。オンラインで検索できる目録のことです。高知大学のOPACでは全学で所蔵している図書と雑誌が検索できます。各図書館のホームページで公開されています。

図書館の書架の間を本を眺めて歩いて読みたい本を探すのも楽しいですが、授業で指定された参考図書を探す場合など読みたい本が決まっているときは、OPAC(オーパック)で所蔵場所を探すと素早く目的の本が探せます。



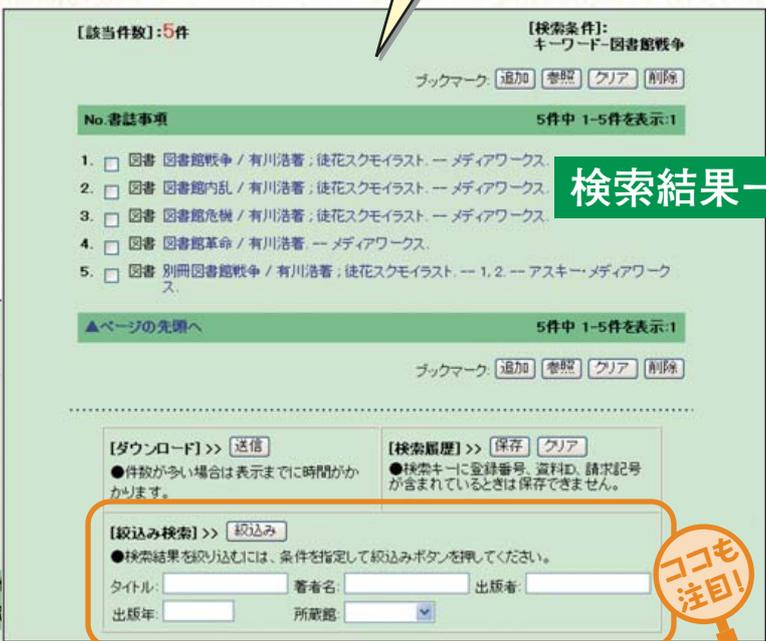
OPACトップページ (資料問い合わせ画面)

① 読みたい本のタイトルや作者などキーワードのところへ入力して検索ボタンを押してみよう。

② 出てきた検索結果から読みたい本を選ぼう。

- ベストリーダー……今、貸出の多い資料のリストを表示
- 新着案内………新しく受入した本のリストを表示
- 利用問い合わせ…現在借りている本の確認や貸出期限の延長ができます。

読みたい本が貸出中の場合はこのボタンから予約ができます。



検索結果一覧

検索結果が多いときはここで絞込みができます。

書誌詳細

③ 本の配置場所は本の情報の上に出ています。請求記号(本の背にはっているラベル)を目印に配架場所に探しにいこう。



Yahoo!などのサーチエンジンでは探せない情報が探せます。

図書館では一般には利用できない有料のデータベースを契約して、学内に提供しています。ここでは便利なデータベースをいくつか紹介します。ぜひレポート作成などに有効に利用してみてください。ご利用は各図書館のホームページからどうぞ!



英語の
スペル・
意味は?

KOD (KENKYUSYA ONLINE DICTIONARY)

研究社のオンライン辞書。現在、英和・和英辞典14辞典をはじめ三省堂の大辞林や日本語表現活用辞典・類義語使い分け辞典・総合ビジネス英語文例事典が検索できます。

JapanKnowledgeプラスN (ジャパンナレッジ)

百科事典、辞書等知識探索サイト。日本大百科全書(ニッポニカ)、日本国語大辞典、字通をはじめとする事典・辞書の検索ができるほか、東洋文庫が全文読めたり、記事・コラム・地図・年表等のコンテンツもあります。

これって
どういう
意味?

新聞
記事を
調べたい!

聞蔵 (キクゾー)

朝日新聞のデータベース。1945年から現在までの記事を検索して記事を読むことができます。AERA、週刊朝日、知恵蔵の記事も検索利用できます。



CiNii (サイニー)

日本の学術論文を中心とした論文情報検索ができるデータベース。本文まで提供されている論文もたくさんあります。雑誌にのっている論文はOPACでは検索できないので、まずCiNiiのような論文データベースを利用して探し、載っている雑誌が高知大学にあるかをOPACで探します。

あるテーマ
について
書かれた論文を
読みたい!

図書館🖨️🖱️ホームページは 本を探すだけじゃないヨ!!



「影との戦い」

アーシュラ・K・ル＝グウィン（岩波同時代ライブラリー）

『ゲド戦記』の最初の巻です。アニメが面白かった人も、面白くなかった人（私もそうです）もぜひ読んでみましょう。もともとは子供向きのシリーズに入っていたものですが、この本の本当の面白さがわかるのは20歳前後の（あるいは、もう少し高齢の）人たちではないかと思います。図書館にある「同時代ライブラリー」版は今は絶版ですが、岩波少年文庫版も内容は同じです。

（人文学部長 小澤萬記）



先生や先輩が、お薦めの本を紹介してくれました。
OPACで探してみてもネ!!

「ほんとうの環境問題」

池田清彦・養老孟司著（新潮社）

「情けは人の為ならず」古い戒めの言葉である。「因果はめぐる小車」などともいう。東洋人、なかんずく日本人は、原因と結果を直線で結ぶことに生来懐疑的である。その発想は、曖昧文化などとして、欧米から一時期ひどい扱いを受けた。

かつて、環境とは公害問題であり、自然保護であった。環境破壊源を暴き、それを市民に告発・啓発することに主眼が置かれた。最近では地球温暖化である。二酸化炭素は真犯人なのか。結果としての地球温暖化は、果たして悪なのか。著者らの懐疑的で挑発的な主張を、一度は傾聴してみるとよい。

（理学部長 川村和夫）

「図書館戦争」シリーズ

有川浩（メディアワークス）

公序良俗を乱すような表現を取り締まる法律「メディア良化法」が成立・施行され、次々と狩られていく書籍を守るべく図書館が立ち上がった!図書館を舞台に戦って、泣いて、笑って、恋愛しての物語。2007年本屋大賞にノミネートされた1冊。「図書館の自由」をテーマとしつつも堅苦しさをないエンターティメント性を重視した作品です。ページ数はそれなりにありますが、読書に慣れた人はさらっと、読書が苦手な人でも楽しんで読んでもらえる内容だと思います。大学生活の最初の一冊にどうぞ!

（人文学部 正分 敦）

「1日30分」を続けなさい!人生勝利の勉強法55

古市幸雄（マガジンハウス）

私がお薦めするのは、2007年ベストセラー・ビジネス部門で1位を獲得した本です。本書はビジネス書なので、内容は基本的にはビジネスパーソン向けに書いてはありますが、大学生のうちに読んでおいても決して損はありません。著者は毎日の少しずつの努力が将来自分にかえてくるということを主張しており、若干厳しいことも書いています。しかし、そのことが逆に向学心を高めてくれました。私もこの本により勉学に対するモチベーションが高まり、毎日少しずつ資格試験のために勉強をしています。折角の大学4年間です。皆さんも自分のスキルアップを目指してみませんか?

（理学部卒業生 松下智美）

高知大生に薦めるこの一冊

「サブリミナル・マインド—潜在的人間観のゆくえ」

下條信輔 (中公新書)

これは日本を代表する心理学者の手による、人間というものの見方を考えさせる本である。人は何かを決断するとき、自分の意思でその決断をしていると思っている。しかしながら本書を読むと、人間の意思決定というものが、自分の気づかない潜在的なプロセスに如何に影響を受けているかがわかる。自由意志というものが存在するのかという哲学的問いに対しても、最新の心理学的視座を提供してくれる。同著者による、続編、「サブリミナル・インパクト」ちくま新書2008もお薦め。

(教育学部長 藤田尚文)

「武士道」

新渡戸稲造著、岬龍一郎訳 (PHP研究所)

複数の訳者による翻訳本があり、筆者は奈良本訳を推薦したいが、本書はより現代語訳で読みやすい。奈良本辰也訳(三笠書房)の方が格調高く思うが、本書の方が読みやすい。日本人の全てに武士道精神が育まれていた訳ではなく、武士道精神の全てが日本人として身につけるべきものとは言えないかも知れない。しかし、大学生という高等教育を受けているものにとって、noblesse obligeの精神は是非とも理解して欲しいものである。「自分さえ良ければ」の時代にこそ求められる名著である。

(医学部長 脇口 宏)

「これからレポート・卒論を書く若者のために」

酒井聡樹 (共立出版)

大学で学ぶ中でこれまでと違ってとまどうのはレポートの作成ではないでしょうか。この本はまさにタイトル通り。レポート・卒論の書き方をわかりやすく教えてくれます。文例が豊富で具体的です。中でもよく出てくるのが「ベガルタ仙台」と「牛タン」についてのレポート。果たしてその関係は…?この本に出てくる悪い例を読んでことごとく自分の学生のときのレポートを思い出し、単位をくれた先生方に思わず感謝です。これからのみなさんはぜひこの本を読んでみてください。

(図書館職員 田所千峰子)

「風が強く吹いている」

三浦しをん(新潮社)

この小説は、箱根駅伝を目指す大学生の物語で、10人で行われる競技にほとんどが陸上競技未経験者の10人ぎりぎりでも挑む、というありえない設定なのに、駅伝どころかスポーツ全般にほとんど興味のない私でもぐんぐん引き込まれ、大笑いしながらラストはホロリと涙。学生たちが駅伝をやろうと決心したきっかけも、「就職に有利なんだよね?」「女の子にモテるんだよね?」というよこしまなところも正直で憎めません。

(図書館職員 國吉美奈)



めでいもりだより

Voice of the Forest

「SpringerLink」(Springer社の電子ジャーナル)が利用できるようになりました。

Springer社の電子ジャーナルが、学内LANにて、ご利用可能となりました。創刊号～最新号まで閲覧ができます。

「MLA International Bibliography」のプラットフォームが変更になりました。

現在Gale INFOTACでご利用頂いている「MLA International Bibliography」は、2009年4月から、EBSCOhostで提供されることになりました。

「ERIC」が利用できるようになりました。

米国国立教育学図書館による教育学の基本的なデータベース「ERIC」が利用できるようになりました。

「日経テレコン21」が利用できるようになりました。

図書館職員による代行検索になります。ご希望の方は図書館窓口まで。

「MAGAZINEPLUS」の利用が終了しました。

国内雑誌論文検索データベース「MAGAZINEPLUS」の利用提供を3月末で終了しました。国内雑誌論文の検索につきましては、CiNii等をご利用ください。

春の図書館ガイダンスのお知らせ

5～6月にかけて、中央館と農学部分館では図書館ガイダンスを予定しています。OPACの利用方法や論文の探し方などを職員がわかりやすくご案内します。新入生はもちろん卒論を控えた3・4年生には絶対おススメです。開催日程は図書館HPや掲示でお知らせします。

オンデマンドガイダンス

ゼミやグループ等でガイダンスをご希望の場合は日程や内容もご希望にあわせたガイダンスを行います。随時受け付けていますので、ぜひご活用ください。



ガイダンスのお問い合わせ：学術情報サービスグループ kg07@kochi-u.ac.jp (中央館)
農学部分館サービスグループ kg06@kochi-u.ac.jp (農学部分館)

編集後記

新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます。

記念すべき「あうる」第1号は新入生歓迎号ということでお送りしました。スタッフ一同試行錯誤の内容ですが、皆さんにメディアの森について知ってもらいたいという気持ちをこめて編集しました。

お気づきのとおり、「あうる」は森に住むふくろうのこです。メディアの森の番人であり賢者、知恵の象徴をイメージしています。

これから年2回、総合情報センターからいろいろな情報やニュースをお届けしていく予定です。みなさん、森からの声に耳をすませてみてください。

あうる No.1 (2009年4月発行)

[編集・発行]

高知大学総合情報センター(図書館)

〒780-8520 高知市曙町2-5-1

Tel.088-844-8731 Fax.088-844-8161

U R L : <http://www.lib.kochi-u.ac.jp/>

E-mail : lib@kochi-u.ac.jp